

年報（2009年4月～2010年3月）

I 別科日本語研修課程

①在学者数とその内訳

	春学期	秋学期
新入学生 (1セメスター)	48 + 39	65 + 40
在学生 (2セメスター)	41 + 15	46 + 1
在学延長学生 (3セメスター以上)	6	7
聴講生	3	4
合計	152	163
国・地域別学生数	韓国37・中国27・タイ13・台湾18・イタリア10・ロシア6・ドイツ8・サウジアラビア4・スリランカ4・USA4・オーストラリア2・パキスタン2・フィンランド2・モンゴル2／アイスランド・イラン・インドネシア・エクアドル・カザフ・カザフスタン・コロンビア・スウェーデン・シンガポール・ナイジェリア・NZ・ネパール各1	
	中国39・韓国31・台湾24・タイ23・ドイツ7・ロシア7・サウジアラビア5・スリランカ4・USA3・ノルウェー3・モンゴル3・パキスタン2／アイスランド・イタリア・オーストラリア・ザンビア・シンガポール・スウェーデン・デンマーク・ナイジェリア・ネパール・フィンランド・ブルガリア・ポーランド各1	

②授業日程

	春学期	秋学期
担当講師会	3月11日（水）	9月11日（金）
入学式	4月4日（土）	9月23日（水）
プレースメントテスト	4月6日（月）	9月23日（水）
授業開始	4月10日（金）	9月26日（土）
新入生研修会	7月3日（金）歌舞伎鑑賞 他	10月28日（水）箱根彫刻の森美術館 他
定期試験	7月23日（木）～25日（土）	1月26日（火）～28日（木）
授業終了・終了の会	7月27日（月）	1月29日（金）
授業報告会	7月27日（月）	1月29日（木）
修了式	9月23日（水）	3月25日（木）

③推薦試験

	春学期	秋学期
筆記試験実施日	6月24日（水）・25日（木）	11月23日（月）・24日（火）
受験者数	15人	21人／編入学1人（経営学科）
推薦内定者数	14人	17人
推薦面接試験日	7月19日（日）	12月15日（火）
合格者数（カッコ内は学科別内訳）	13人（広報メディア学科1，心理・社会学科1，経営学科3，社会環境1，国際学科2，芸術学科1，情報数理学科1，コンピュータ応用工学科1，組み込みソフトウェア工学科1，建築学科1）	17人（英語文化コミュニケーション学科2，広報メディア学科1，観光学科3，経済学科1，経営学科1，国際学科2，生涯スポーツ学科2，経営システム工学科1，コンピュータ応用工学科1，電気電子工学科1，機械工学科1，医用生体工学科1）

④別科修了者の動向（協定校からの派遣学生を除く）

	春学期	秋学期
学部進学・大学院進学	13・1	19・1
本学研究生	5	10
他大学進学・研究生	1（研究生）	3（研究生・大学院）
専門学校進学（日本語学校）	7（4）	7（3）
在学延長	16	27
帰国	11	12
その他	2	2

⑤その他の別科関連の活動

別科日本語教育研修会

第17回日本語教育研修会：日本人学生ボランティアを授業に生かすには（2009年9月11日）

- i. 講演「日本人学生側から見た視点」岩田祐子教授（外国語教育センター1類）
- ii. ワークショップ：ボランティアを生かす技能別授業の試み

第18回日本語教育研修会（2010年3月11日）

- i. アウトプットを重視した中級授業の試み：斉木ゆかり・小林尚美・加納則子
- ii. 学習者同士の対面テスト：久野由宇子
- iii. ICレコーダーの活用法：北村よう

Ⅱ 留学生課程

①留学生課程科目

春学期開講科目	秋学期開講科目
日本語Ⅰ（文系クラスA） 中国4，韓国8，アメリカ1	日本語Ⅰ（文系クラスA） 中国8，韓国1，台湾1，タイ2
日本語Ⅰ（文系クラスB） 中国6，韓国3，台湾1，オーストラリア1，サウジアラビア8	
日本語Ⅰ（理系クラスA） 中国2，韓国1，カザフスタン1，サウジアラビア8	
日本語Ⅰ（理系クラスB） 中国6，韓国3，台湾1，タイ1，カザフスタン1，インドネシア3，サウジアラビア2	
日本語Ⅱ（文系クラスA） 中国8，韓国1，インドネシア1，サウジアラビア18	日本語Ⅱ（文系クラスA） 中国10，韓国1，タイ2
日本語Ⅱ（文系クラスB） 中国4，韓国4，台湾1，カザフスタン1，オーストラリア1，ノルウェー1，サウジアラビア1	
日本語Ⅱ（理系クラスC） 中国8，韓国1，タイ1，マレーシア1	
日本語Ⅰ（高輪校舎） 中国4，カザフスタン1，サウジアラビア1	
日本語Ⅱ（高輪校舎） 中国1，サウジアラビア1	
日本の文化・社会Ⅰ 中国7，韓国8，台湾1，タイ1， バングラディシュ1，サウジアラビア1	日本の文化・社会Ⅰ 中国4，韓国1，台湾1，タイ4，スリランカ1
世界と日本Ⅰ 中国19，韓国4，台湾2，タイ4，バングラディシュ1， オーストラリア1，サウジアラビア7，ノルウェー1	
	世界と日本Ⅱ 中国15，韓国2，台湾3，タイ2， サウジアラビア10
日本語コミュニケーションⅠ 中国1，韓国2，台湾1，タイ1，サウジアラビア1	
	日本語コミュニケーションⅡ 中国2

②春学期入学者

一般留学生入学試験	一期入学者 27名
	二期入学者 35名
別科からの推薦による入学者	13名
合計	75名

<学科等内訳>

文学部（アジア文明学科 1，北欧学科 2，広報メディア学科 7，英語文化コミュニケーション学科 1，アジア文明学科 1）

政治経済学部（経営学科 7）

教養学部（国際学科 1）

情報通信学部（経営システム工学科 2）

情報理工学部（情報科学科 2）

工学部（建築工学科 3，応用化学科 7，機械工学科 4，航空宇宙学科 2，電気電子工学科 7，動力機械工学科 3，エネルギー工学科 1，土木工学科 1）

芸術工学部（建築・環境デザイン学科 1）

体育学部（生涯スポーツ学科 2，スポーツレジャーマネジメント学科 1）

健康科学部（社会福祉学科 1）

海洋学部（航海学科 1，海洋資源学科 2，船舶海洋工学科 1）

開発工学部（生物工学科 1）

農学部（応用植物科学科 1）

③秋学期入学者

別科からの推薦による入学者	13名
合計	13名

<学科等内訳>

文学部（広報メディア学科 1，心理・社会学科 1）

政治経済学部（経営学科 3）

教養学部（人間環境学科 1，芸術学科 1，国際学科 2）

理学部（情報数理学科 1）

情報理工学部（コンピューター応用工学科 1）

情報通信学部（組込みソフトウェア工学科 1）

工学部（建築学科 1）

Ⅲ 副専攻科目

春学期開講科目	秋学期開講科目
日本語教育法概論	日本語教育法概論
現代日本語文法	現代日本語文法
日本語音声学	日本語教育演習
日本語語彙論	日本語授業研究
日本語教育方法論	

Ⅳ 大学院 文学部日本文学専攻日本語教育学コース2009年度開講科目

日本語学Ⅰ-1, 2（音声）	宮城幸枝
日本語学Ⅱ-1, 2（語彙）	関正昭
日本語学Ⅲ-1（文法）	町田健
日本語学Ⅲ-2（文法）	関正昭
日本語教授法研究Ⅰ-1	関正昭
日本語教授法研究Ⅰ-2	松岡弘
日本語教授法研究Ⅱ-1, 2	加藤好崇
日本語教授法演習Ⅰ-1, 2	加藤好崇
比較文化特論-1, 2	吉野誠
国際関係特論-1, 2	貴家勝宏
言語学特論-1, 2	ロスティンスキー・ジョセフ
認知心理学特論-1	宮城幸枝
日本文学コースの科目から1科目	
日本語教育学研究法（ゼミ）	関正昭, 宮城幸枝, 加藤好崇

<2009年度修了生および修士論文題目>

2009年度の修了生は9名（9月修了4名，3月修了5名）であった。

丁娟

「日本の対外日本語教育と中国の対外中国語教育の比較—言語教育機関・言語能力試験・言語教育スタンダードの分析—」

崔秀璟

「韓国人日本語学習者のネットワーク管理—短期留学生のネットワーク・ストラテジー—」

蒋岑桦

「数量表現の日中対照研究」

林重孝

「中国語母語話者にとっての日本語の外来語・カタカナ語」

城所安純

「ハワイ日系人と日本語教育—日本語教科書の分析と変遷を中心に—」

荒井純一

「プレースメントテストの分析と考察—東海大学別科日本語研修課程のプレースメントテストを用いて—」

ジャトゥヨサポーン・タナポーン

「タイ語と日本語の長音・単音の知覚の研究」

ジャロンウィット・カジョーン・ウィパー

「タイ人日本語学習者—日本語母語話者の初対面接触場面における話題選択」

タンブンティナー・ナットモン

「タイ—日の日本語接触場面における『誘い—断り』の発話行為」

V 2009年度言語文化教育研究会

	日時	テーマ	講師
1	2009年11月26日（木） 17:00～18:00	スペインにおけるスペイン語教授法 —スペイン語留学での経験から学んだこと—	三浦寛子 助教 清水慶子 講師 国際教育センター
2	2009年12月17日（木） 17:00～18:00	外国籍児童生徒への教育 ～本学と在日ブラジル人コミュニティとの 交流活動について～	小貫大輔 教養学部国際学科准教授
3	2010年1月12日（火） 17:00～18:00	ヨーロッパ学術センターの ミッションについて考える —これまでの活動と今後の展望—	谷口聡人 ヨーロッパ学術センター所長 国際教育センター教授
4	2010年2月25日（木） 13:00～17:00	日本事情クラスとドキュド라마 —日本社会への理解深化のために—	飯島有美子 関西国際大学准教授

VI アジア人材資金構想高度専門留学生育成事業

授業期間：2009年4月4日～2010年3月18日

担当教員：田中敦子・古川明子・池田朋子・三浦寛子

①概要

アジア人財資金構想プログラムは、アジアの相互理解と経済連携の促進に向け、経済産業省と文部科学省が実施する教育プログラムである。東海大学では2008年10月より留学生の受け入れをスタートさせ、専門教育、日本語教育、就職支援のサポートを行っている。

2009年度日本語教育部門では、大学院入学前半年間の日本語予備教育（計1040時間）及び大学院生対象のビジネス日本語教育（計188時間）を実施した。

②予備教育

授業時間：初級300時間，中級220時間

（スケジュール）

2009年度春学期		2009年度秋学期	
4月4日	授業ガイダンス	9月24日	授業ガイダンス・授業開始
4月6日	オリエンテーション 授業開始	10月13日	開講式
5月11日	開講式	11月16日	初級中間試験
5月19・20日	初級中間試験	12月12日	原子力産業セミナー
5月21日	防災センター見学	12月22・23日	初級期末試験
6月29・30日	初級期末試験	2月9日	中級中間試験
8月7・17日	中級中間試験	2月22日	東芝磯子エンジニアリングセ ンター見学
8月19日	渋谷電力館見学	3月3～5日	東海村研修
9月11日	プロジェクトワーク発表会	3月17・18日	中級期末試験
9月16・17日	中級期末試験	3月18日	プロジェクトワーク発表会

③ビジネス日本語教育

（実施科目）

	実施学期	授業名	授業内容
1	春・秋	キャリア・プラン	日本の労働事情及び日本人の働き方を理解し，自身のキャリア・プランを考える。
2	春・秋	就職活動準備	具体的に日本の就職活動について知り，エントリーシートや試験，面接の練習をする。
3	春・秋	読解	日本語能力向上のために社会的トピックの読解を中心としながら，文法，漢字学習をする。
4	春・秋	知的財産権	知的財産権に関する基本的な法律知識や，その背景知識を学ぶ。
5	春	ビジネス会話 (BJT 対策)	BJT の練習問題をしながら，日本でのビジネス文化を知り，ビジネス場面における表現を学ぶ。
6	秋	コーポレート アクセス	日本の企業を理解し，グループワークの意義を学ぶために日本人学生と協働で学習する。
7	秋	ビジネスコ ミュニケーションⅠ	日本の企業文化・習慣を学び，ビジネス会話及びビジネス文書の技能を身につける。

（スケジュール）

7月27日	BJT テスト受験	12月17日	BJT テスト受験
8月5～7日	企業訪問	2月9・10日	発電所見学（青森）
8月25～27日	発電所見学（福島・青森）	2月16・17日	発電所見学（福井）
9月2・3日	発電所見学（福井）	2月26日	企業訪問
9月7～11日	インターンシップ	3月9日	企業訪問
9月14～16日	東海村研修		

Ⅶ 第3回国際フェア

1. 日 時：2009年12月3日（木）・4日（金）
2. 主 催：国際教育センター・外国語教育センター・国際戦略本部
3. 参加学生：1）日本人：外国語教育センターで英語やそれ以外の言語を学ぶ学生・国際交流に関心を持つ学生有志
2）留学生：別科に所属する留学生全員＋学部留学生有志
4. 実施行事
12月3日（木）
 - 1）6ヶ国語スピーチコンテスト
 - 2）各国フェア
 - 3）海外派遣留学説明会
 - 4）日本語スピーチコンテスト
 - 5）学生交流パーティ12月4日（金）
 - 1）各国フェア
 - 2）海外派遣留学説明会
 - 3）日本語学校在学留学生対象東海大学進学説明会
 - 4）英語スピーチコンテスト

Ⅷ 第1回東海大学ロシア国立総合極東大学学生シンポジウム 「東海大学／極東大学日露学生フォーラム2010」

主催：東海大学／ロシア極東国立総合大学
日程：2010年3月11日（木）～18日（木）
会場：ウラジオストック，極東大学新図書館講堂

全体テーマ：「アジア太平洋国家としての日露」
各セッション・テーマ

- 第1セッション：「アジア太平洋地域国家としての日本とロシア」
- 第2セッション：「日露のソフトパワー」
- 第3セッション：「若者の社会・政治参加」

2010年3月11～18日にかけてロシア国立極東大学において研修を行った。この研修は、1）学生フォーラム；2）極東大学教員と東海大学教員の講義の交換を行い、現地学生と東海大学生が議論を行った。学生フォーラムの使用言語は英語であったが、極東大学側教員の講義の際

には日本語も使用された。

IX 2009年度第4回日露学生フォーラム

主催：東海大学国際教育センター，東海大学国際戦略本部，外務省，日露青年交流センター

日時：2009年9月22日（火）～9月24日（木）

会場：東海大学湘南校舎 東海大学山中湖セミナーハウス

9月22日（火）～24日（木）の3日間，日露青年交流センターとの共催により，本学湘南校舎および本学山中湖セミナーハウスにおいて「日露学生フォーラム2009」を開催した。

期間中は，ロシア全土から選抜されたロシア人学生26名と本学学生を含む日本人学生29名が参加し，両国の相互理解の促進ならびに将来の交流関係の発展に貢献することを目的として「アジア・太平洋地域において日露両国が果たすべき役割」，「若者の政治参加」，「インターネット社会の諸問題」など，両国に共通する様々な問題について議論したほか，文化プログラム，スポーツ大会等も実施された。また，9月22日（火），湘南校舎において開催された開会式では本学体育学部長・山下泰裕による基調講演が行われ，開会式後には，松前達郎総長主催による昼食会が催された。

X 人間の安全保障教育研究コンソーシアム 2009年度研究大会

主催：東海大学国際教育センター，東海大学国際戦略本部，人間の安全保障コンソーシアム

日時：2009年10月17日（土），18日（日）

会場：東海大学湘南校舎15号館4階会議室

人間の安全保障教育研究コンソーシアム第三回大会が，東海大学の主催で湘南校舎にて開催された。2007年に発足した「人間の安全保障教育研究コンソーシアム」は本年で3年目を迎えた。「人間の安全保障」の学際的なフレームワークが考慮され，これまでの2回のコンソーシアムでは様々な分野をテーマにして，講演，研究発表，討論が行われてきた。本年度のテーマも，人間の安全保障を確立するために欠かせない要素の一つであるテクノロジーに焦点を当てたものであった。

第1日目の10月3日のシンポジウムでは黒川清教授（内閣特別顧問・前日本学術会議会長）とリンカン・チェン教授（ハーバード大学グローバル・エクィティ・イニシアティブ研究所創設者，元国連安全保障委員会委員）を招待し，人間の安全保障と技術，医療，公衆衛生についての講演を行った。2日目の研究発表大会では，社会文化系の研究者だけでなく，自然科学，工学，医学系の若手研究者，大学院生が報告を行った。